

# CITIZEN

## POS プリンター ユーティリティー マニュアル



シチズン・システムズ株式会社

## はじめに

POS プリンター ユーティリティーではプリンターの内部設定などを簡単に行うことができます。  
また、BMP、GIF、JPG 形式のイメージを編集して、プリンターの NV メモリ(フラッシュメモリ)へロゴデータの登録や、テスト印刷などを行うことができます。

### 対応機種

CT-E301, CT-E601,  
CT-S251, CT-S251W,  
CT-S253, CT-S255, CT-S255W,  
CT-S257,  
CT-S280, CT-S280II, CT-S281, CT-S281BT, CT-S281BD, CT-S281II,  
CT-S300, CT-S310,  
CT-S401,  
CT-S601, CT-S601II, CT-S601IIW,  
CT-S601IIR, CT-S601IIRW,  
CT-S651, CT-S651II, CT-S651IIW,  
CT-S801, CT-S801II, CT-S801IIW, CT-S801III,  
CT-S851, CT-S851II, CT-S851IIW, CT-S851III,  
CT-S2000,  
CT-S4000, CT-S4500,  
CT-P290, CT-P291, CT-P292, CT-P293,  
PMU2300III,  
PMU3300,  
PPU-700II

### サポート OS

Windows 7 以降の OS  
要 .NET Framework 4.8

## 基本的な使い方

画面左側①の項目を選択すると、画面右側②が切り替わり、各項目の機能が利用できます。画面左下③には現在のプリンターとインターフェースが表示されます。

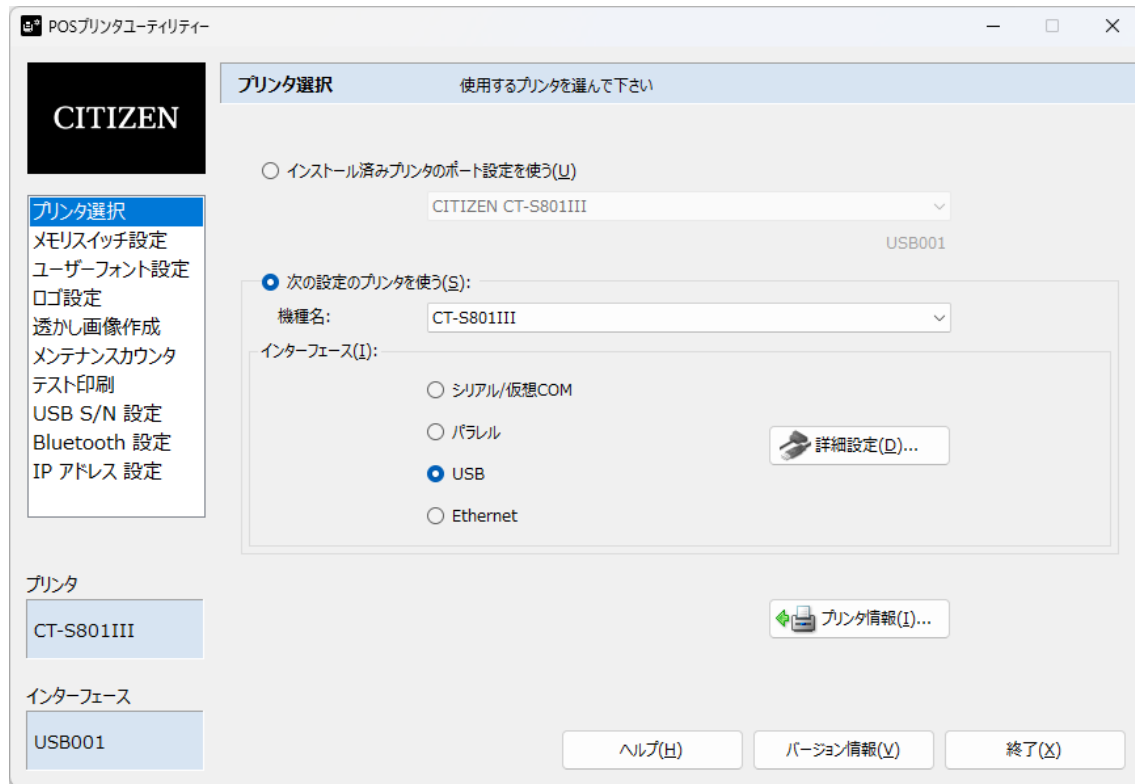


## 共通ボタン

- |           |                                    |
|-----------|------------------------------------|
| 「ヘルプ」     | 「POS プリンター ユーティリティ」のマニュアルを表示します。   |
| 「バージョン情報」 | 「POS プリンター ユーティリティ」のバージョン情報を表示します。 |
| 「終了」      | 「POS プリンター ユーティリティ」を終了します。         |


# プリンター選択

プリンターとインターフェースの選択を行います。



## 「インストール済みプリンターのポート設定を使う」ラジオボタン

インストール済みプリンターから選択することができます。

 をクリックして、利用するプリンターを選択してください。

## 「次の設定のプリンターを使う」ラジオボタン

手動で機種名とインターフェースとを選択することができます。

「機種名」リスト、「インターフェース」ラジオボタン をクリックして、機種名とインターフェースを選択してください。

「詳細設定...」ボタン をクリックして、[インターフェースの詳細を設定](#)してください。

## 「プリンター情報...」ボタン

プリンター情報の取得を試み、その結果を表示します。

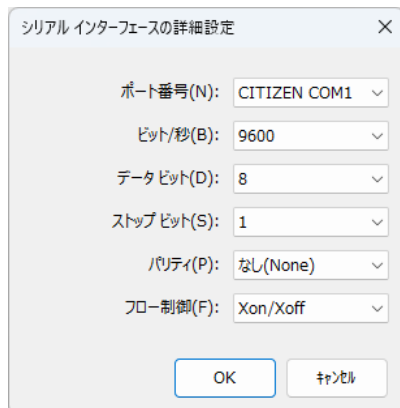
表示内容は、機種により変わります。

## インターフェースの詳細設定

インターフェースの詳細設定を行います。

※選択したインターフェースの種類がパラレル・USB の場合、表示されない項目があります。

### シリアルインターフェースの詳細設定



#### ポート番号:

ポート番号を選択します。

#### ビット/秒:

ボーレートを選択します。[1200]～[115200] より選択します。  
機種により選択可能な値は変わります。

#### データ ビット:

データ ビットを選択します。[7]、[8] より選択します。

#### ストップ ビット:

ストップ ビットを選択します。[1]、[2] より選択します。

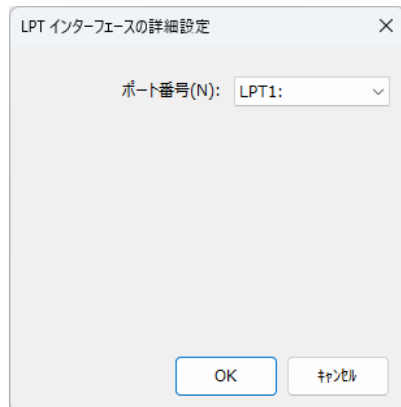
#### パリティ:

パリティを選択します。[なし(None)]、[奇数(Odd)]、[偶数(Even)] より選択します。

#### フロー制御:

フロー制御を選択します。[DTR/DSR]、[Xon / Xoff] より選択します。

## パラレルインターフェースの詳細設定

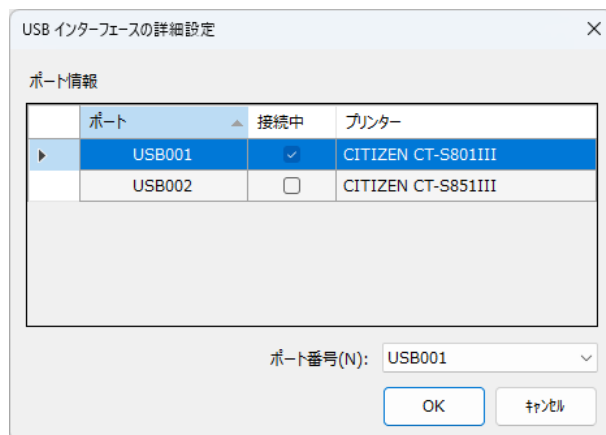


### ポート番号:

ポート番号を選択します。

---

## USB インターフェースの詳細設定



### ポート情報:

ポート情報を表示します。

ポート情報をクリックしてポート番号を選択できます。

### ポート番号:

ポート番号を選択します。

※USB インターフェースを仮想 COM でご利用の場合は、[「シリアルインターフェースの詳細設定」](#)をご参照ください。

---

## Ethernet の詳細設定

Ethernet の詳細設定

ネットワーク情報

	IP アドレス	MAC アドレス	型式
	192.168.235.121	00:11:23:45:67:89	IF2-EFX2
▶	192.168.235.19	00:11:23:45:67:89	IF1-ET01

ホスト名または IP アドレス (A): 192.168.235.19

ポート番号 (N): 9100

OK キャンセル

### ネットワーク情報:

ネットワーク情報を表示します。

ネットワーク情報をクリックして IP アドレスを選択できます。

### 「更新」ボタン

ネットワークプリンターを検索して表示します。

検索可能なネットワーク・インターフェース・ボードは以下の通りです。

IF1-ETxx, IF2-ETxx, IF1-WFxx, IF2-WFxx, IF1-ESxx

### ホスト名または IP アドレス:

ホスト名、または、IP アドレスをタイプします。

### ポート番号:

ポート番号をタイプします。デフォルトは 9100 です。

※ドライバーに **"SEH Print Monitor"** または、**"Standard TCP/IP Port"** をご利用の場合は、ポートのプロパティ「**双方向サポートを有効にする**」チェックボックスのチェックを外す必要があります。

**"CITIZEN TCP/IP Port"** をご利用の場合は、上記の設定は必要ありません。

---

# メモリスイッチ設定

プリンターのメモリスイッチ設定を行います。設定内容の保存、呼び出しも可能です。

POSプリンタユーティリティ

**CITIZEN**

プリンタ選択  
メモリスイッチ設定  
ユーザーフォント設定  
ロゴ設定  
透かし画像作成  
メンテナンスカウンタ  
テスト印刷  
USB S/N 設定  
Bluetooth 設定  
IP アドレス 設定

プリンタ  
CT-S801III

インターフェース  
USB001

メモリスイッチ設定 プリンターの内部設定を行います

<input checked="" type="checkbox"/>	No.	機能	設定値	デフォルト
<input checked="" type="checkbox"/>	MSW1-1	電源 ON 通知設定	有効	有効
<input checked="" type="checkbox"/>	MSW1-2	インプット バッファ	4 Kbytes	4 Kbytes
<input checked="" type="checkbox"/>	MSW1-3	Busy 条件	フル/オフライン	フル/オフライン
<input checked="" type="checkbox"/>	MSW1-4	受信エラー文字	"?" 文字	"?" 文字
<input checked="" type="checkbox"/>	MSW1-5	CR モード	無効	無効
<input checked="" type="checkbox"/>	MSW1-7	DSR 信号選択	無効	無効
<input checked="" type="checkbox"/>	MSW1-8	INIT 信号選択	無効	無効
<input checked="" type="checkbox"/>	MSW2-2	オート カッター動作	有効	有効
<input checked="" type="checkbox"/>	MSW2-3	バッファリング	無効	無効
<input checked="" type="checkbox"/>	MSW2-4	フル桁印字	データ待ち	データ待ち
<input checked="" type="checkbox"/>	MSW2-5	カバー クローズ復帰	次行印字	次行印字
<input checked="" type="checkbox"/>	MSW2-8	PNE センサー	有効	有効
<input checked="" type="checkbox"/>	MSW3-1	オート カッター復帰	L/F 有効	L/F 有効

デフォルト(D) インポート(I)... エクスポート(E)... 受信(R) 設定(S)

ヘルプ(H) バージョン情報(V) 終了(X)

■機種により表示される設定項目が異なります。

設定項目詳細につきましては、各プリンターの『取扱説明書』をご参照ください。

■本機能は実際の製品と異なる場合があります。

## メモリスイッチ設定手順

1. 「受信」ボタンをクリックしてプリンターのメモリスイッチを受信します。
2. 「設定値」列の ☐ をクリックして設定値を選択します。
3. 「設定」ボタンをクリックしてプリンターを設定します。

※ 対象のメモリスイッチを限定したい場合、チェックボックスのチェックを外してください。  
タイトル行のチェックボックスを使用して、すべてを一度にチェックできます。



## 各ボタン

### 「デフォルト」ボタン

設定値をデフォルトへ戻します。

※仕向地により実際の製品とは異なるデフォルト値になることがあります。

### 「インポート...」ボタン

【ユーティリティー形式】でエクスポートしたファイルを開いて、その設定内容を画面に反映します。

### 「エクスポート...」ボタン

画面で設定した内容をファイルへ保存します。

保存形式は、【プリンター登録形式】と【ユーティリティー形式】とが選択できます。

### 「受信」ボタン

現在のプリンターの設定内容を読み取って、その設定内容を画面に反映します。

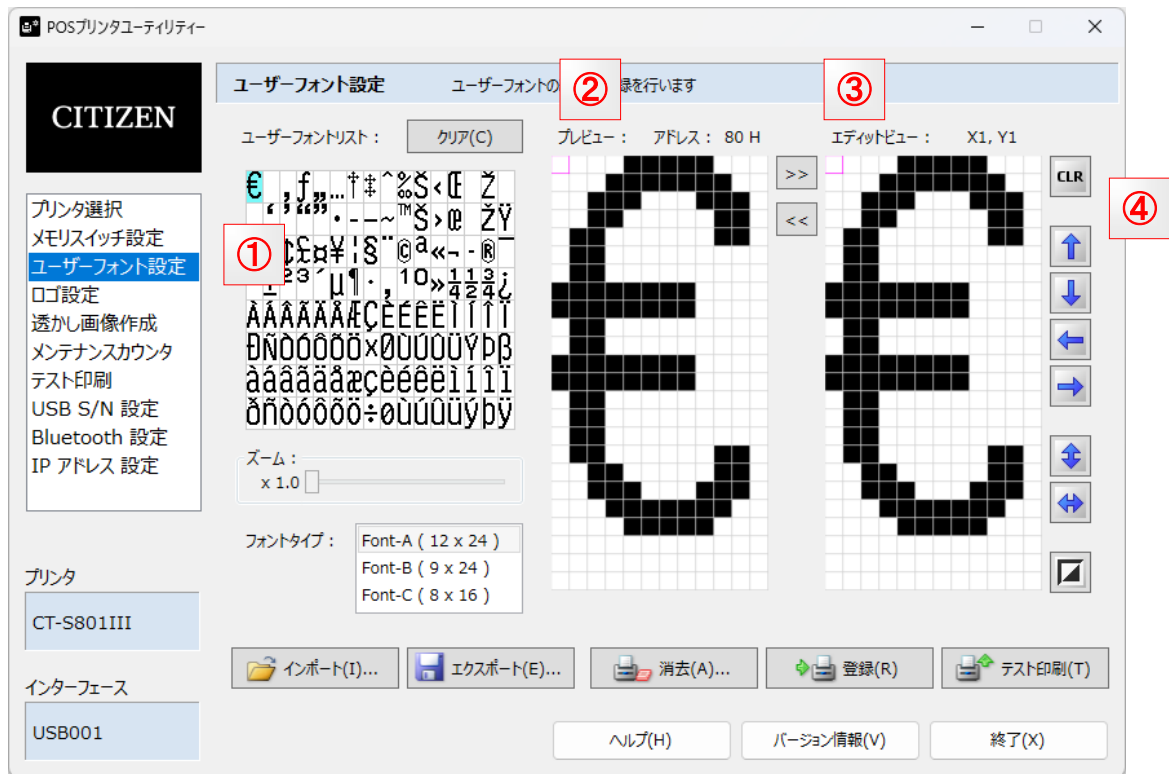
### 「設定」ボタン

画面で設定した内容をプリンターへ送信します。

---

# ユーザー フォント設定

ユーザー フォントの編集と登録を行います。



## 編集登録手順

### 1. フォントタイプの選択

「フォントタイプ」リストをクリックして、編集するフォントタイプを選択します。  
機種により Font-B のサイズが異なります。

### 2. 既存のユーザー フォントを開く

「インポート...」ボタンをクリックして表示される「ファイルを開く」ダイアログで、編集するフォントファイルを選択します。すると、「ユーザー フォント リスト」① にそのフォントが一覧表示されます。


「クリア」ボタンで「ユーザー フォント リスト」① の一覧表示をクリアします。

「ズーム」スライダーで「ユーザー フォント リスト」① の一覧表示を拡大します。

### 3. フォントを「エディットビュー」③ へコピー

「ユーザー フォント リスト」① のフォントをダブルクリックして、「エディットビュー」③ へコピーします。この時、「プレビュー」②も更新されます。

「ユーザー フォント リスト」① のフォントをシングルクリックした場合は、「プレビュー」② へのみコピーします。更に「エディットビュー」③ へコピーしたい場合は、









 ボタンをクリックします。

#### 4. フォントの編集


「エディットビュー」③ 上でフォントを編集、作成します。

左クリックまたはドラッグして黒いドットを設定し、右クリックまたはドラッグして白いドットを設定します。

#### 「エディットビュー」編集ボタン群④

	全てのドットを白くします。
	1 ドット上へシフトします。
	1 ドット下へシフトします。
	1 ドット左へシフトします。
	1 ドット右へシフトします。
	垂直反転
	水平反転
	白黒反転

#### 5. フォントを「ユーザー フォント リスト」① へコピー

 ボタンをクリックして、「エディットビュー」③ から「ユーザー フォント リスト」

① へコピーします。この時、「プレビュー」② も更新されます。

必要であれば、「エクスポート...」ボタンで編集したフォント一覧を保存します。

保存形式は、[プリンター登録形式]と[ユーティリティ形式]とが選択できます。

#### 6. 「ユーザー フォント リスト」① を登録

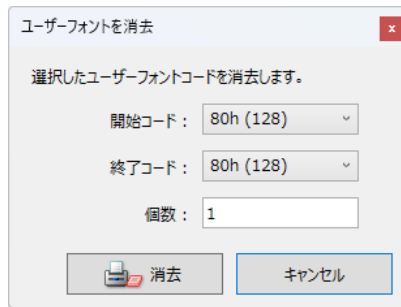
「登録」ボタンをクリックして、「ユーザー フォント リスト」① をプリンターに登録します。

「テスト印刷」ボタンで登録済みフォント一覧を印刷します。

---

## プリンター内ユーザー フォントの消去手順

1. 「ユーザー フォントを消去」ダイアログを開く  
「ユーザー フォント設定」画面の「消去...」ボタンをクリックすると「ユーザー フォントを消去」ダイアログが開きます
2. フォントアドレスの選択



消去したい「**開始コード**」と「**終了コード**」をそれぞれ選択します。  
選択されたフォント数が「**個数**」に表示されます。

3. 消去  
「**消去**」ボタンをクリックすると消去を開始します。
-

# ロゴ設定

ロゴ データの登録と編集を行います。



上の図はキーコードモードに対応した一例です。

■ BMP、GIF、JPG、PNG の 4 種類のデータを使用することができます。

## 「インポート...」ボタン

[ユーティリティ形式]でエクスポートしたファイルを登録ロゴ データの一覧へ追加します。

## 「エクスポート...」ボタン

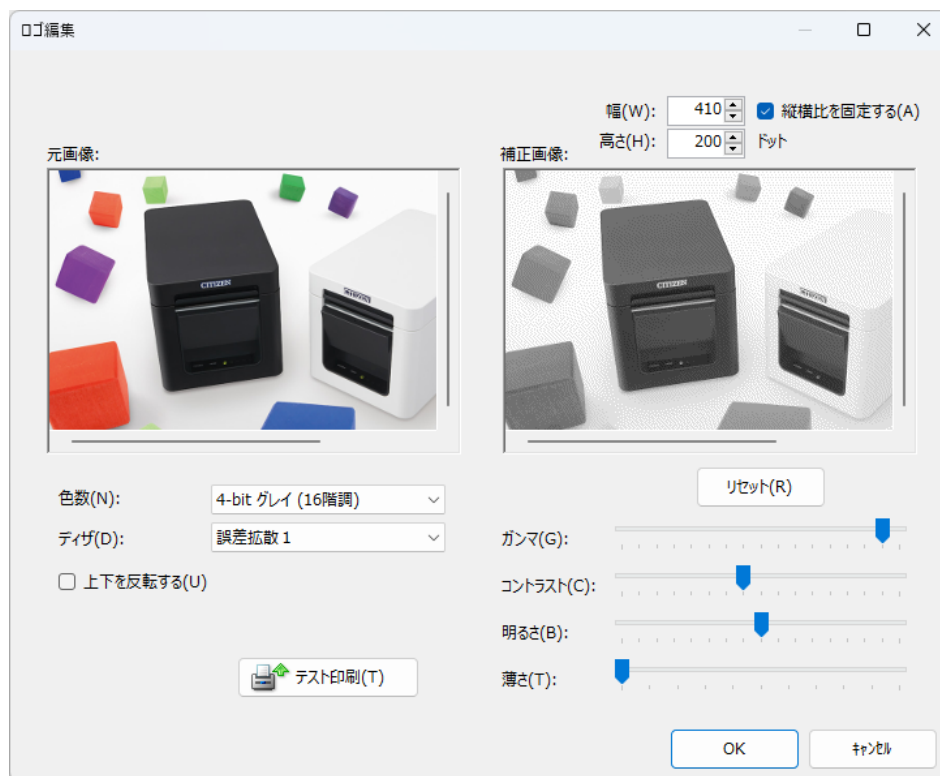
登録ロゴ データの一覧でチェックしたロゴ データをファイルへ保存します。

保存形式は、[プリンター登録形式]と[ユーティリティ形式]と[BMP 形式]とが選択できます。

## イメージの追加手順(ロゴ設定画面①)

選択したイメージを処理して、リストへ追加します。

1. 「イメージ追加...」ボタンをクリックし、登録したい画像ファイルを選択します。  
以下のような「ロゴ編集」ダイアログが表示されます。



2. 「幅」、「高さ」で選択したイメージのサイズを指定します。  
※「縦横比を固定する」にチェックがある場合、縦横の比率を変えずに変更します。  
※「上下を反転する」にチェックがある場合、上下を反転します。
3. 「色数」で選択したイメージの減色数を指定します。

「グレイ」 対応機種:	CT-E601, CT-S251, CT-S251W, CT-S255, CT-S255W, CT-S257, CT-S601II, CT-S601IIW, CT-S601IIR, CT-S601IIRW, CT-S651II, CT-S651IIW, CT-S801II, CT-S801IIW, CT-S801III, CT-S851II, CT-S851IIW CT-S851III,
----------------	---

4. 「ディザ」で選択したイメージの減色方法を指定します。
5. 「ガンマ」、「コントラスト」、「明るさ」、「薄さ(黒を間引く)」スライダーで選択したイメージを補正します。  
※「リセット」ボタンで補正量をデフォルトに戻します。
6. 「テスト印刷」ボタンで補正したイメージを印刷し、補正量を確認します。  
※プリンターへ登録はされません。
7. 「OK」ボタンで補正したイメージを登録ロゴ データの一覧に追加します。

## イメージの登録手順(ロゴ設定画面②)

ロゴ登録モード、登録順、キーコードを設定し、ロゴをチェックして登録します。

1. 「モード変更」ボタンでロゴ登録モードを設定します。

ロゴ登録モードには以下の2種類を選択できます。

- ・キーコード未使用モード : FS q コマンド
- ・キーコードモード : GS ( L コマンド

### ■制限事項

「キーコードモード」 未対応機種:	CT-S280, CT-S281, CT-S281BT, CT-S281BD, CT-S300, CT-S310, CT-P290, CT-P291, CT-P292, CT-P293, PMU2300III, PMU3300
----------------------	---

2. 「△/▽」ボタンで選択中のロゴ データの位置を変更します。

チェックしたロゴ データは上から順にプリンターに登録されますので、登録順を変更したい場合、位置を変更して登録してください。

「削除」ボタンで選択中のロゴ データを削除できます。

3. 「キー」列にキーコードを設定します。

キーコード未使用モードで利用する場合はキーコードが無効(登録順)となります。

キーコードモードで利用する場合は任意の英数字2文字をタイプして設定します。

推奨キーコード

利用環境	推奨キーコード
Windows ドライバー v2.8 以前	"L1"~"L5"
Windows ドライバー v3.0 以降	"L1"~"L9"
各 POS Print SDK, OPOS 他	"01"~"20"

4. 「登録」列で登録したいロゴ データをチェックします。
  5. 「登録」ボタンでチェックしたロゴ データをプリンターに登録して、それを印刷します。  
印刷が正しくできたことを確認してください。  
利用方法につきましては、『**Windows ドライバー仕様書**』をご参照ください。
-



## ロゴ印刷(ロゴ設定画面③ キーコードモード)

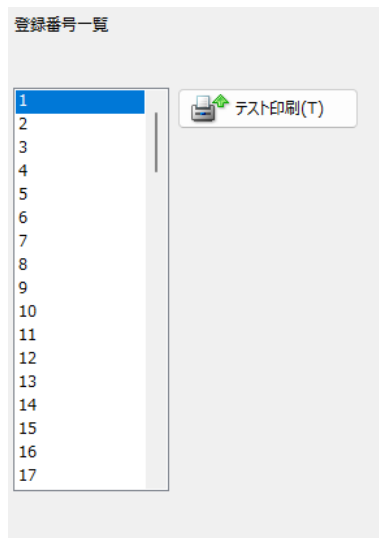
プリンターに登録されているロゴデータの一覧を取得し、印刷や消去ができます。



- |             |                             |
|-------------|-----------------------------|
| ・「テスト印刷」ボタン | 選択したキーコードの登録済みロゴ データを印刷します。 |
| ・「消去」ボタン    | 選択したキーコードの登録済みロゴ データを消去します。 |
| ・「全消去」ボタン   | 全ての登録済みロゴ データを消去します。        |
| ・「一覧取得」ボタン  | 全ての登録済みロゴ データを表示します。        |
| ・「メモリ情報」ボタン | プリンターのメモリ情報を表示します。          |
-

## ロゴ印刷(ロゴ設定画面③ キーコード未使用モード)

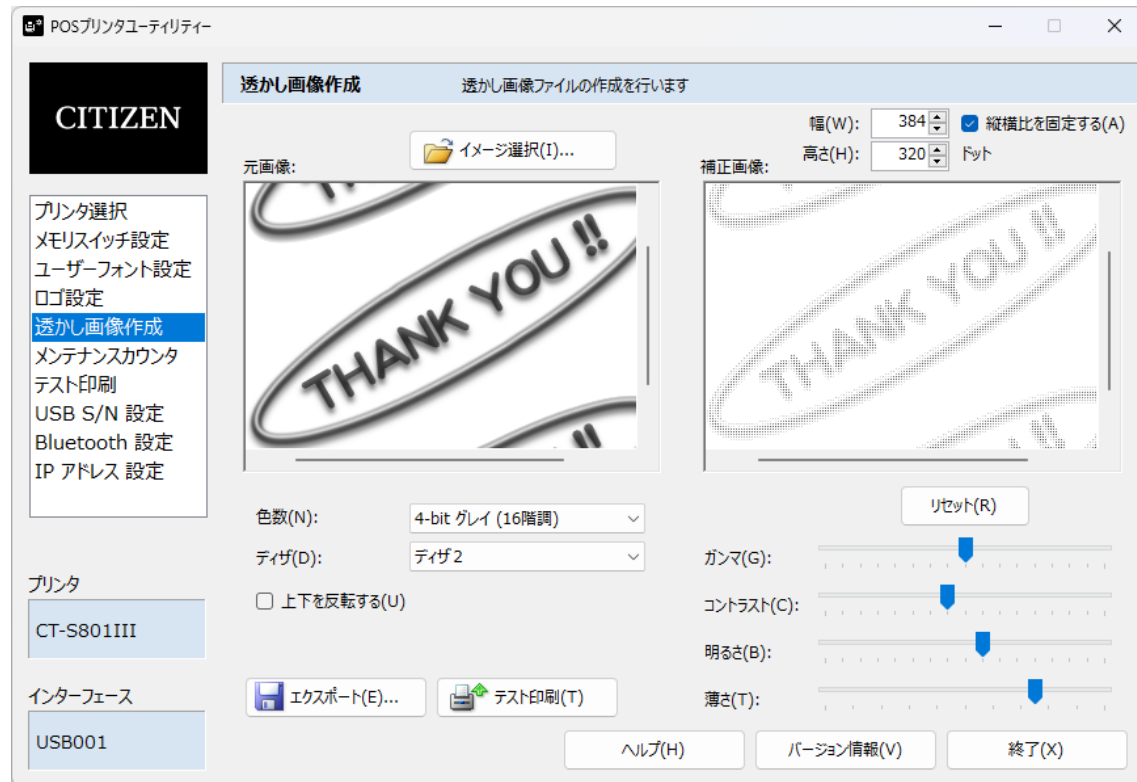
プリンターに登録されたロゴ データの印刷ができます。



- ・「テスト印刷」ボタン      選択した番号の登録済みロゴ データを印刷します。
-

# 透かし画像作成

Windows ドライバー v2.0 以上で利用可能な透かし画像ファイルの作成を行います。



## 作成手順

1. 「イメージ選択...」ボタンをクリックすると「ファイルを開く」ダイアログが開きますので、透かし画像にしたいイメージを選択します。
2. 「幅」、「高さ」で選択したイメージのサイズを指定します。  
※「縦横比を固定する」にチェックがある場合、縦横の比率を変えずに変更します。  
※「上下を反転する」にチェックがある場合、上下を反転します。
3. 「色数」で選択したイメージの減色数を指定します。

「グレイ」  
対応機種：

CT-E601, CT-S251, CT-S251W, CT-S255, CT-S255W, CT-S257, CT-S601II, CT-S601IIW, CT-S601IIR, CT-S601IIRW, CT-S651II, CT-S651IIW, CT-S801II, CT-S801IIW, CT-S801III, CT-S851II, CT-S851IIW, CT-S851III,

4. 「ディザ」で選択したイメージの減色方法を指定します。
5. 「ガンマ」、「コントラスト」、「明るさ」、「薄さ(黒を間引く)」スライダーで選択したイメージを補正します。  
※「リセット」ボタンで補正をデフォルトに戻します。
6. 「テスト印刷」ボタンで補正画像を印刷し、補正量を確認します。
7. 「エクスポート」ボタンでファイル名を指定して保存します。

利用方法につきましては、『Windows ドライバー仕様書』をご参照ください。

# メンテナンスカウンタ

メンテナンスカウンタの表示とクリアを行います。

POSプリンタユーティリティ

CITIZEN

メンテナンスカウンタ  
メンテナンスカウンタの表示とクリアを行います

プリンタ選択  
メモリスイッチ設定  
ユーザーフォント設定  
ロゴ設定  
透かし画像作成  
メンテナンスカウンタ  
テスト印刷  
USB S/N 設定  
Bluetooth 設定  
IP アドレス 設定

メンテナンスカウンタ

紙送り行数 : 45404  
ヘッド通電回数 : 1054156  
オートカッター駆動回数 : 949  
製品の稼働時間 : 410

累積カウンタ  
リセット可能カウンタ  
クリア

紙送り行数 : 45404  
ヘッド通電回数 : 1054156  
オートカッター駆動回数 : 0  
製品の稼働時間 : 410

☐  
☐  
☒  
☐

受信(R)  
印刷(P)  
クリア(C)

ヘルプ(H)  
バージョン情報(V)  
終了(X)

プリンタ  
CT-S801III

インターフェース  
USB001

上の図は本機能に対応した一例です。

## ■制限事項

非対応機種:	CT-S251W, CT-S280, CT-S281, CT-S281BT, CT-S281BD, CT-S300, CT-S310, CT-S601IIW, CT-S601IIRW, CT-S651IIW, CT-S801IIW, CT-S851IIW, CT-P290, CT-P291, CT-P292, CT-P293, PMU2300III, PMU3300, PPU-700II,
--------	--

## 「リセット可能カウンタ」・「累積カウンタ」

紙送り行数、ヘッド通電回数、オートカッター駆動回数、製品の稼働時間それぞれ「リセット可能カウンタ」と「累積カウンタ」があります。

「受信」ボタン      プリンターから各値を受信します。

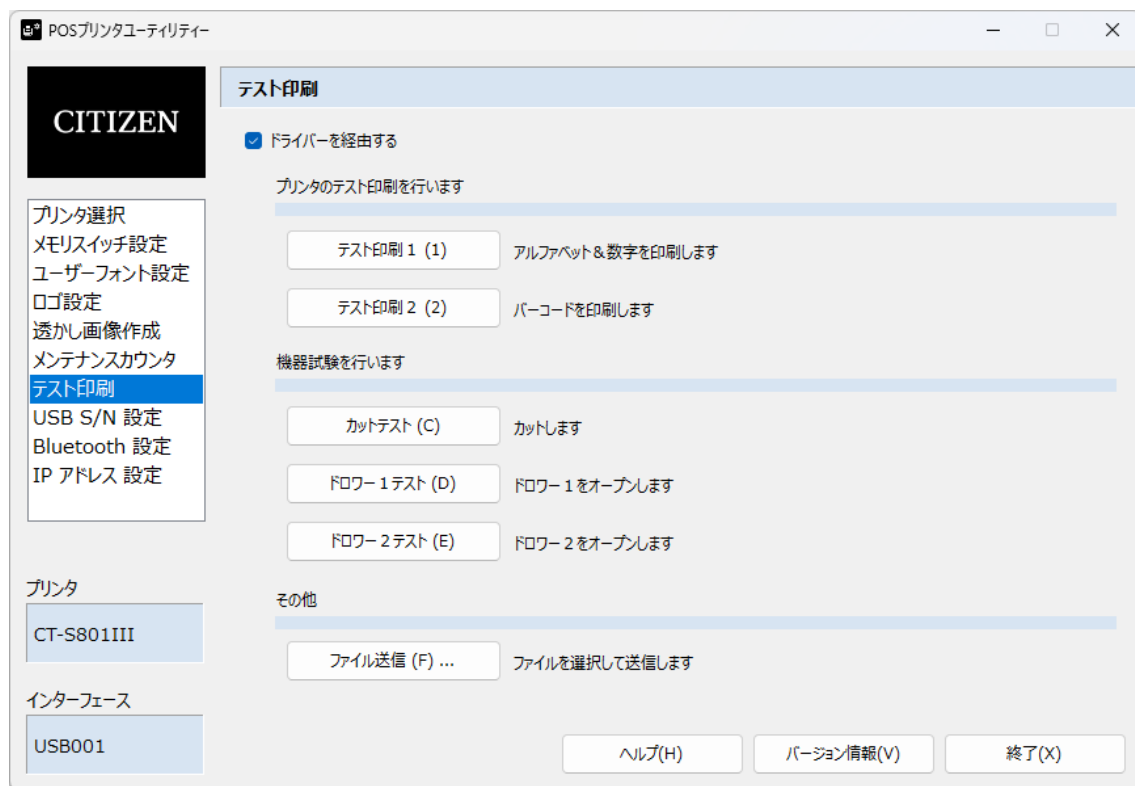
「印刷」ボタン      プリンターへ各値の印刷を行います。

「クリア」ボタン      チェックした「リセット可能カウンタ」を初期化します。

※「累積カウンタ」は初期化する事が出来ません。

# テスト印刷

テスト印刷を行います。



上の図は全ての機能に対応した一例です。

■ 機種により使用できない項目があります。

## 「ドライバーを経由する」チェックボックス

チェックあり: テスト印刷はスプーラーサービスを経由してデータを出力します。

チェックなし: テスト印刷は選択されたインターフェースへ直接データを出力します。

「テスト印刷1」ボタン      アルファベット & 数字を印刷します。

「テスト印刷2」ボタン      バーコードを印刷します。

「カットテスト」ボタン      カッター試験を行います。

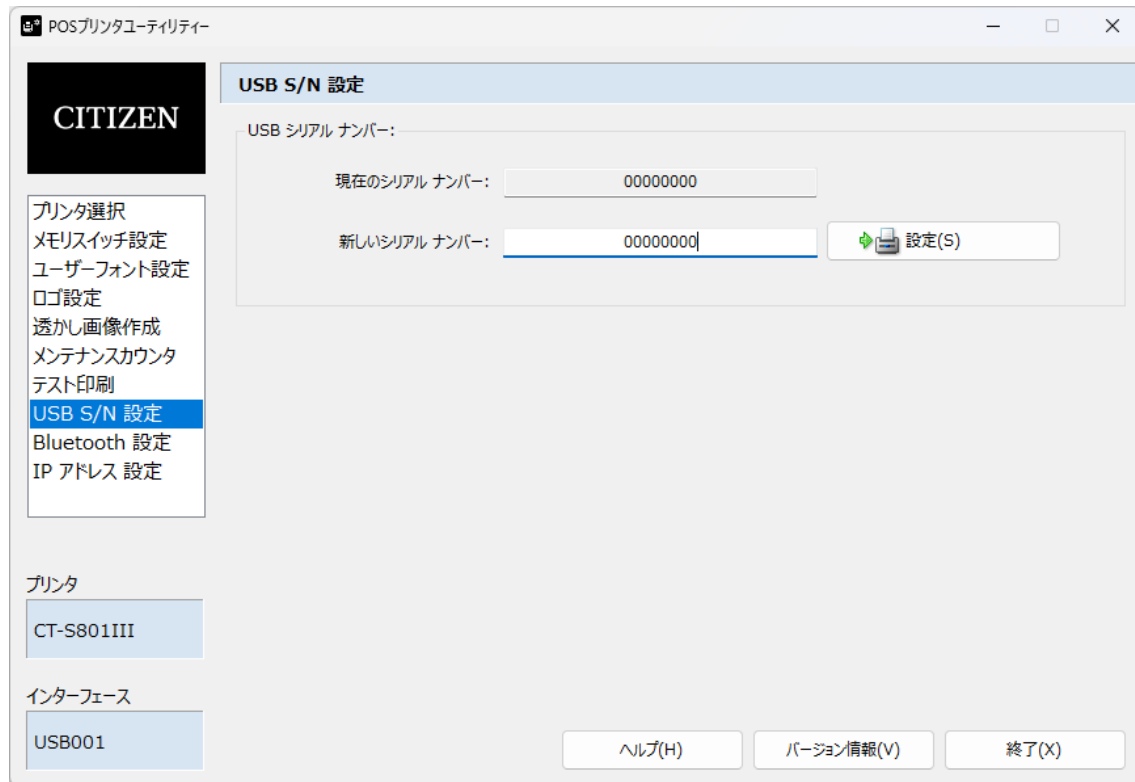
「ドロワー1 テスト」ボタン      ドロワー1 をオープンします。

「ドロワー2 テスト」ボタン      ドロワー2 をオープンします。

「ファイル転送」ボタン      選択した PRN ファイルを転送します。

# USB S/N 設定

USB シリアル ナンバーの設定を行います。



上の図は本機能に対応した一例です。

## ■制限事項

非対応機種:	CT-S280, CT-S280II, CT-S300
--------	-----------------------------

### 「現在のシリアルナンバー」

USB インターフェースで接続している場合、現在の USB シリアル ナンバーを表示します。

### 「新しいシリアルナンバー」

新しい USB シリアル ナンバーを最大 20 文字の英数字でタイプします。

### 「設定」ボタン

「新しいシリアルナンバー」にタイプした USB シリアル ナンバーをプリンターへ設定します。

※USB インターフェース接続で設定した場合は、「プリンター選択」画面でプリンター（ポート番号）を選択し直してください。

このときに新しいプリンターが追加された場合、印刷スプーラー サービスを再起動するか、または、コンピューターを再起動し直す必要がある場合があります。

## Bluetooth 設定

PIN コード、デバイス名の設定を行います。

POSプリンタユーティリティ

**CITIZEN**

Bluetooth 設定 PIN コード、デバイス名の設定を行います

機種名: CT-S801III

BT アドレス: 00:00:00:00:00:00 受信(R)

現在の PIN コード: 0000

新しい PIN コード: PIN コード 設定(P)

現在の BT デバイス名: CT-S801III

新しい BT デバイス名: デバイス名 設定(D)

ヘルプ(H) バージョン情報(V) 終了(X)

上の図は本機能に対応した一例です。

### ■制限事項

対応機種:	CT-E601, CT-S251, CT-S251W, CT-S255, CT-S255W, CT-S257, CT-S281BT, CT-S281BD, CT-S601II, CT-S601IIW, CT-S601IIR, CT-S601IIRW, CT-S651II, CT-S651IIW, CT-S801II, CT-S801IIW, CT-S801III, CT-S851II, CT-S851IIW CT-S851III, CT-S4500
-------	--

### 「受信」ボタン

「機種名」、「BT アドレス」、「現在の PIN コード」、「現在の BT デバイス名」をプリンターから受信して表示します。

※本機能はプリンターに **Bluetooth インターフェース**を装着した状態でのみ利用できます。

### 「PIN コード 設定」ボタン

「新しい PIN コード」にタイプした PIN コードをプリンターへ設定します。

PIN コードは以下の条件を満たす必要があります。

- ・文字数は 4～16 文字 であること。
- ・先頭文字は スペース (20H)、ダブルコーテーション (22H) 以外であること。
- ・文字コードは カンマ (2CH) を除く ASCII 文字 (20H～2BH, 2DH～7EH) であること。

#### 「デバイス名 設定」ボタン

「新しい BT デバイス名」にタイプしたデバイス名をプリンターへ設定します。

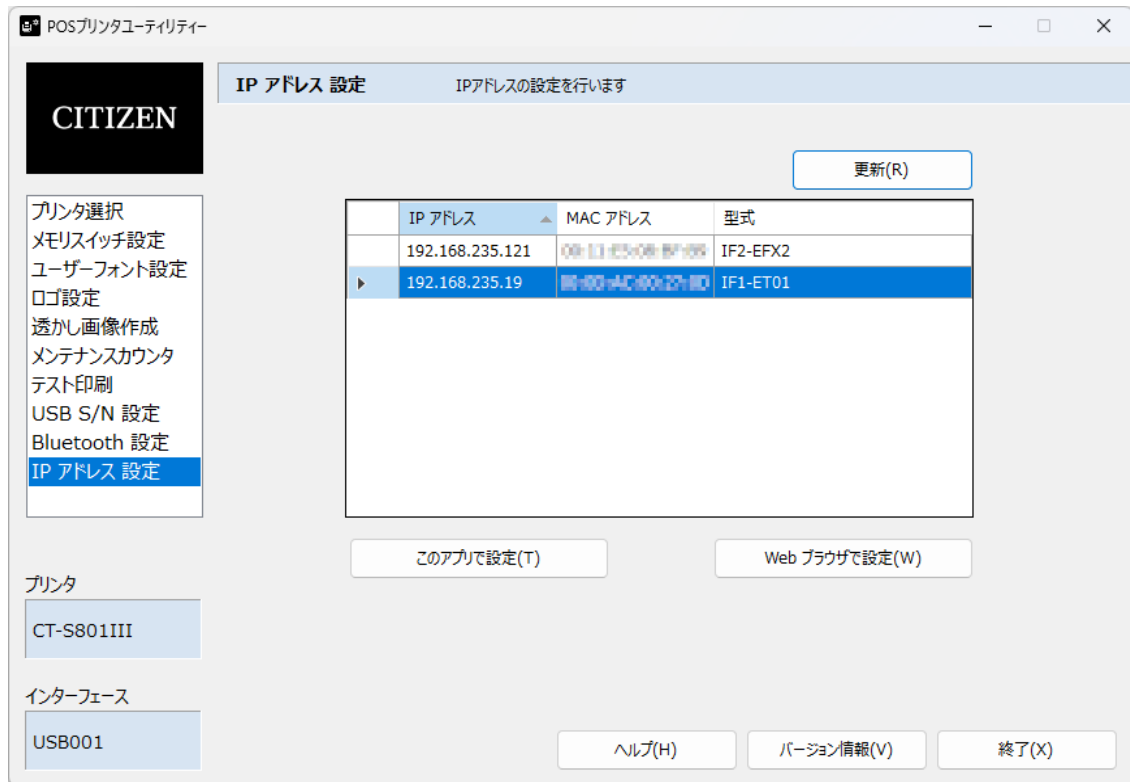
デバイス名は以下の条件を満たす必要があります。

- ・文字数は 1～31 文字 であること。
  - ・先頭文字は スペース (20H)、ダブルコーテーション (22H) 以外であること。
  - ・文字コードは カンマ (2CH) を除く ASCII 文字 (20H～2BH, 2DH～7EH) であること。
-



# IP アドレス 設定

DHCP、IP アドレス、サブネット マスク、デフォルト ゲートウェイの設定を行います。



上の図は本機能に対応した一例です。

※本機能はプリンターがネットワーク インターフェースで接続した状態でのみ利用できます。

## 「更新」ボタン

ネットワーク上のプリンターを検索して表示を更新します。

## 「このアプリで設定」ボタン

このアプリケーションを使用して IP 設定 を行います。

Web ブラウザで接続できない場合もこちらを利用してください。

※ 本機能は IF1-ESxx インターフェースの DHCP/BOOTP が変更できません。変更したい場合は Web ブラウザで設定してください。

## 「Web ブラウザで設定」ボタン

デフォルトの Web ブラウザを使用してネットワーク インターフェースの設定を行います。

詳細設定が必要な場合はこちらを利用してください。